

ボンビバ[®]錠100mgを 服用される患者さんへ



このお薬は、月**1**回**1**錠のむ骨粗しょう症のお薬です。

このお薬の効果を十分発揮させるには、継続してのむことが大切です。

毎月 日はボンビバ[®]錠の日

にお薬をのむ予定日を
書きこみましょう。

いつ、どうやって？



- ▶ 朝起きたらすぐに、コップ1杯（約180cc）の水またはぬるま湯でのんでください。
- ▶ 口の中でお薬を溶かしたり、かんだりしないでください。

のんだ後は？



- 60分間**は、
- ▶ 水以外の飲食はせず、ほかのお薬をのまないでください。
 - ▶ のどや食道などへの副作用を避けるために、**横にならず、体を起こして**過ごしてください。

のみ忘れたときは？



- ▶ 気づいた日の翌朝に**1**錠のんでください。
- ▶ 次からは、この**のんだ日から1ヵ月ごと**にのんでください。
- ▶ **同じ日に2錠を**のまないでください。

60分間の理由は？

お薬が吸収されて、期待される効果が得られるからです。

ボンビバ錠をのむ



30分経過



60分経過



治療中、以下のような症状に気づいたら、 すぐに主治医・看護師または薬剤師に連絡してください。

胸やけなどを感じる

- のみみにくさ ●のみ込んだときののどや胸のあたりの痛み ●胸やけ など



あごや歯に違和感を感じる

- あごの痛みや歯のゆるみ ●歯ぐきの腫れ など

! 歯科受診の際には

抜歯などの歯の治療を受ける場合は、あらかじめ主治医・看護師または薬剤師に伝え、歯科医にご相談ください。その際、ボンピバ錠をのんでいることを必ず伝えてください。



あごや歯
に対する症状を
予防するために

- ▶ブラッシングなどで口腔内を清潔に保ってください。
- ▶定期的な歯科検査を受けてください。



体のふしふしが痛くてだるい

- まれに、急性期反応(インフルエンザ様症状)と呼ばれる症状が起こることがあります。
- 主に、初めてお薬をのんだとき服用後3日以内に現れ、7日以内に回復する一過性のものであり、症状は背中や筋肉・関節・骨などの痛み、発熱、頭痛、体のだるさなどです。



次の方はお薬をのむことはできません。●●●●●

- 食道が狭いなど、薬の通過を遅延させる障害がある方
- このお薬、このお薬と同じ系統のお薬(ビスホスホネート系薬剤)に対する過敏性がある方
- お薬をのんだときに体を起こした状態を60分以上続けることができない方
- 低カルシウム血症の方 ●妊娠している方、妊娠している可能性のある方、授乳中の方



医療機関名：



大正製薬株式会社